



『ピアノに触れ、音が出る楽しさや 音への興味を広げる』



ピアノに合わせて歌を歌っていると、音が出てない鍵盤がある事に気付いた子どもたち。

「何の音が出てないの?」「何で出ないの?」「弾いてみたい!」と、出ない音に気付いた事で、ピアノの音に興味を持ち始めていました。

調律師さんが点検に来ていただいた際に、ピアノとの触れ合いを行いました。

ピアノの中を見てみよう!



すごい!
線路みたい!
どうなってるの?

ピアノを弾いてみよう!

上の所が動いてる!
ここ押したらどうなる?



こっちは高い音で、あっちは低い音がするね。
ここの音がでないよ!

保育者の弾くピアノに興味を持っていた子どもたちは、実際にピアノに触れると、とても嬉しそうな表情で1つひとつの鍵盤の音を確認するように弾いていました。弾く場所によって音が違う事に気づき、中央から右側に行くにつれて音が高くなり、左側に行くにつれて音が低くなる事にも気付いていました。

鍵盤を押すとハンマー部分が動き、音が出る不思議さを感じ、どうやって音が鳴っているのか、さらに興味関心が深まっている様子が見られていました。